

Q. 家庭教育とは？

「家庭」とは、愛情による絆で結ばれた場であり、常に子どもの心の拠り所となるものです。子どもが生きていくための基礎を培う場でもあります。「家庭教育」とは、すべての教育の出発点であり、子どもの健全な身体と人格形成のために、親またはそれに準じる大人が子どもに対して行う教育です。

Q. なぜ、家庭教育について学習する機会が必要なのですか？

今、子育てに不安を感じている保護者が増えています。こうした現状を踏まえ、企業・事業所等で働く保護者が、安心して仕事に励むことができるよう、企業において家庭教育について学習する機会が求められています。

Q. 企業内で行われる家庭教育についての研修ではどんなことができるのですか？

親が講座等で学習する機会となることはもちろん、親子で楽しみながら交流し、共通の話題を増やすことも大切な活動となります。具体的には、次のような内容が考えられます。

- * 家庭教育講演会(講座、経験談・情報交換等)
- * 職場探検・見学(保護者の職場を子どもが訪問)

Q. 講師には謝金がかかりますか？

市町村の社会教育指導員は基本的に謝金等は不要です。なお、講師情報の詳細は、本事業ウェブサイト(内面参照)をご覧ください。

Q. 合同で研修を実施してもいいですか？

規模の小さい企業・事業所においては、複数の企業での合同研修でも結構です。また、経済団体の青年部組織等の研修の際に家庭教育の研修内容を入れていただくこともお勧めします。

Q. どのように計画すればよいですか？

- 1 テーマ
家庭教育に関する今日的課題・社会問題はもちろん、従業員の皆さんの意識や悩み、子どもの実態を考慮して設定しましょう。子を持つ従業員に事前アンケートで意見を聞くこともテーマ設定の参考になります。
- 2 方法
・講演会型(講師が一定のテーマで、講義する形式)
テーマに適した講師を依頼し、専門的な話をしてもらうなど課題に応じた学びの場がつけられます。
・フリートーク型(一定のテーマについて少人数で話し合う形式)
話をすることによって悩みや不安を軽減・解消することができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができます。
・体験学習型(活動の目的に従い、実際に身体を動かしたり、物をつくったりする活動)
体験学習をとおして、家族のふれあいができます。家庭教育に関する講話や情報交換を取り入れると学びが深まります。
- 3 進め方
事前：当日などに分けて考えるとよいでしょう。方法によって当日の進め方も違ってきます。
〔事前〕学習内容の設定、期日・日程(プログラム)・会場の調整、講師の選定と依頼・打合せ、開催案内の作成・配布、参加者の取りまとめ、資料作成
〔当日〕進行、講師のサポート、研修に関するアンケートの実施
- 4 講師の依頼
学習内容に応じた講師を選ぶことで、参加者の学習が深まり、満足度が高まります。講師派遣の依頼や謝金等については、各教育事務所に相談してください。

企業連携による教育力向上推進事業とは？

家庭や地域の教育力が低下している状況の中、子どもたちを取り巻く様々な課題の解決のために、茨城産業会議の構成団体と連携し、学校・家庭・地域・企業が一体となって社会全体での教育力の向上を図る仕組みづくりを進めるものです。

家庭教育に関する資料

- すくすく育てはじめの一步(0歳～3歳児の保護者向け)
- 家庭教育ブックひよこ(3歳～5歳児の保護者向け)
- 家庭教育ブック(就学前～小学4年生の児童の保護者向け)
- 家庭教育ブックつばさ(小学4年生～6年生の児童の保護者向け)

茨城 家庭教育ブック

検索

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/katei/book.html>から上記家庭教育支援資料がダウンロードできます。

家庭教育学級の講師紹介や運営の相談等は各教育事務所・学校教育課(生涯学習担当)で行っています。

- 茨城県水戸教育事務所 TEL 029-227-4451
- 茨城県県北教育事務所 TEL 0294-34-0774
- 茨城県鹿行教育事務所 TEL 0291-33-6138
- 茨城県県南教育事務所 TEL 029-822-7294
- 茨城県県西教育事務所 TEL 0296-24-9294

企業DEいきいき家庭教育

～企業における家庭教育支援リーフレット～

平成26年12月発行

編集・発行

茨城県教育庁生涯学習課

〒310-8588 水戸市笠原町978-6
TEL 029-301-5322 FAX 029-301-5339
E-Mail kigyou@edu.pref.ibaraki.jp

協力

- 一般社団法人茨城県経営者協会
- 茨城県商工会議所連合会
- 茨城県商工会連合会
- 茨城県中小企業団体中央会

企業DEいきいき家庭教育

～企業連携による教育力向上推進事業～

気づいたことから 家庭教育をはじめましょう!



働くお父さんやお母さんの「子育て」を応援します!!



家族みんなで生活リズムを整えましょう!!



茨城県教育委員会

～企業における家庭教育の事例紹介～

テーマ 一緒に見直そう 自分の生活 子どもの未来

企業・団体名 (人数) 茨城県塗装工業組合青年部 (15名)

講演内容

- (1) 現代の子どもの食事の特徴
- (2) 朝食と学力
- (3) 親の生活習慣と子どもへの影響
- (4) 最近の中学生のメディア事情
- (5) 地域の大人にできること



テーマ ムーミン童話に学ぶ

企業・団体名 (人数) アクモス株式会社 (13名)

講演内容

- (1) ムーミン童話の背景
 - ・フィンランドって？
 - ・作家はどんな人？
- (2) ムーミン語録
ムーミン童話から
- (3) ムーミン流生き方
 - ・スロー、シンプルライフ
 - ・わくわくドキドキ
 - ・無条件の愛情



テーマ 家庭教育の問題点、親と子のかかわり方

企業・団体名 (人数) 株式会社ダイショー関東工場 (45名)

講演内容

- (1) 親と子の関係とは
- (2) 現代の親子関係の実態
- (3) ロールプレイ
 - ・子育ての悩みの傾聴、発表及び共有
- (4) 親子のコミュニケーション



テーマ 生まれてきてくれてありがとう ～子どもの心の育ち方～

企業・団体名 (人数) 茨城トヨペット株式会社 (16名)

講演内容

- (1) 親とは？
- (2) 子どもの心の発達と親の関わり
- (3) 子どもをダメにする10カ条
- (4) レッツ、ロールプレイ



テーマ 親の日々のかかわり方 ～親の想い子の想い～

企業・団体名 (人数) 中川ヒューム管工業株式会社 (16名)

講演内容

- (1) 夫婦の関係と子どものコミュニケーション力
- (2) 日頃のカウンセリング現場から
- (3) ロールプレイ
 - ・傾聴トレーニング
- (4) 聴くことの大切さ



テーマ 仕事と子育ての両立

企業・団体名 (人数) 株式会社フロンティア水戸 (18名)

講演内容

- (1) 働くとは
- (2) 自分の育ってきた環境を次世代へつなぐ
- (3) ワークショップ
 - ・幼児期の体験
 - ・仕事と子育ての両立とは？
 - ・働きやすい職場とは？
 - ・シェアリング



※本事例は平成25年度まで実施していた「いきいき子育て地域連携実践講座開設事業」の家庭教育研修会の事例が含まれます。



企業との連携による教育支援のウェブサイトには「企業による家庭教育」に関する事業を実施するためのさまざまな情報が掲載されています。ぜひ、活用してください。

掲載内容

「家庭教育の事例」、「事業の進め方」、「講師一覧」など講師一覧は、内容・派遣対象地域等の項目で検索することができます。(市町村の家庭教育推進員や社会教育指導員等)
※企業による学校支援（出前授業の実施、職場体験・見学の受入れ等）の事例の紹介や実施企業の検索の情報も掲載されていますので参考にしてください。

「企業との連携による教育支援ウェブサイト」URL : <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/kigyou/>